

# 円太郎

湿式円形切断カッター  
WSC-150GB型

取扱説明書

この度は弊社湿式円形切断カッターWSC-150GB型をお買い上げいただき、誠に有難うございます。

はじめに

- ・ この取扱説明書は湿式円形切断カッターWSC-150GB型の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前に安全で最良の状態でご使用いただくために、必ず熟読し正しくお取扱いただくようお願い申し上げます。
- ・ お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。
- ・ 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- ・ 下記マークは安全上特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



**危険**

取扱いを誤った時、使用者等に死亡または重傷を負う危険が極めて大きいことを示す。



**警告**

取扱いを誤った時、使用者等に死亡または重傷を負う危険が想定されることを示す。



**注意**

取扱いを誤った時、使用者等が軽傷を負う可能性が想定される場合または物的損害のみ発生が想定されることを示す。

## 安全に作業をするために



### 警告

安全に作業をしていただくために、次の注意事項を守ってください。

- ・ 作業に適した服装を身につけ、ヘルメット、安全靴を必ず着用してください。
- ・ 燃料補給時には、必ずエンジンを停止させ、タバコの火等、火気を近づけないようにしてください。
- ・ トンネル内での作業時には、換気に十分気を付けましょう。
- ・ 夜間作業時には、必要に応じて照明施設を設けるなどして、十分明るくして作業をしましょう。
- ・ 作業前には、必ず始業点検を行い、不具合・故障箇所のある場合は、整備完了してから使用しましょう。
- ・ エンジン運転中は、絶対に回転部に手などを近づけないようにしましょう。
- ・ 機械から離れる場合は、いたずらなどで機械が動き出したりしないように、キーを抜きとるなど十分に注意しましょう。
- ・ 傾斜地に駐車するときは、必ず車止めをしましょう。
- ・ バッテリーの電解液は強い酸性で、人体に有害ですので皮膚などに付着しないようにしましょう。
- ・ 電気配線のたるみや断線は、ショートによる火災の危険がありますので、十分注意しましょう。
- ・ 道路上での作業は、歩行者などの安全確保のため立ち入り禁止の表示をし、必要に応じて誘導者を配置し、通行車両の整理をしましょう。
- ・ エンジンおよびダイヤモンドブレードについては、各々の取扱い説明書をよく読んで、正しくお使い下さい。
- ・ 室内では使用しないでください。

## 『主 要 諸 元』

- |              |                                 |
|--------------|---------------------------------|
| 1) 名 称       | 湿式円形切断カッター                      |
| 2) 型 式       | W S C - 1 5 0 G B               |
| 3) 最大切断深さ    | 150mm(18"球面ブレード使用時)             |
| 4) 切 断 方 式   | 手押し式                            |
| 5) 切 断 外 径   | 900φ~1800φ(センターアームを変更による)       |
| 6) 切込深度調整    | 手動ハンドルスイング式                     |
| 7) 使用ブレード    | 専用球面ブレード                        |
| 8) ブレード冷却装置  | 水タンク(20ℓ)標準搭載 自然落下式             |
| 9) 搭載エンジン    |                                 |
| a) 名 称       | メイキエンジン GB300LE                 |
| b) 型 式       | 空冷4サイクル単気筒OHV式                  |
| c) 排 気 量     | 296cc                           |
| d) 最大出力      | 7.3kw/2,000rpm                  |
| e) 使用燃料      | 普通ガソリン                          |
| f) オ イ ル     | SAE #20~30                      |
| g) 燃 料 タンク   | 6.0ℓ                            |
| 10) 本体寸法及び重量 |                                 |
| a) 全 長       | 785mm 1280φ用セット時<br>560mm (格納時) |
| b) 全 幅       | 920mm                           |
| c) 全 高       | 920mm                           |
| d) 概算重量      | 170kg                           |

## 《ご使用になる前の点検》

機械をご使用になる前に必ず始業点検を行うようにしてください。



### 警告

- ・点検、整備を行う場合は必ず平坦な場所に機械を置き、エンジンを停止してから行ってください。
- ・燃料の補給、各部への注油はエンジンが冷えてから行い、くわえタバコなどは絶対にしないで下さい。また、給油後はキャップをしっかり閉め、こぼれた燃料などはきれいに拭き取ってください。

#### 1) 機械各部分の緩みを点検して下さい。

ボルト、ナット、ベルトなどの点検をし緩みがある場合は、増し締めなど必要な整備を行ってください。

#### 2) ピローブロックのガタがないか点検して下さい。

ブレード取付軸のピローブロックにガタがあると、ブレードのたたき現象を引き起こしチップとびの原因となりますので、ガタがある場合は交換してからご使用下さい。

#### 3) エンジンオイル等の点検をして下さい。



### 注意

#### a) エンジンオイル

注油口より給油し、オイルゲージをいっぱい押し込み、ゲージの上下のキザミの間までオイルを入れてください。もし、足りない場合は補給して下さい。

#### b) ピローブロック

ピローブロックを点検し、適時グリースを給油して下さい。

#### c) バッテリー

バッテリー液を点検し、電解液が規定液面より下の場合は、補充液を補給して下さい。

## 《エンジン運転》



### 警告

- 1) 始動前に始業点検を毎日必ず行って、不具合なところがないことを確認して下さい。
- 2) 車輪ストッパーをし、機械を確実に固定してください。
- 3) スタータスイッチにキーを差込み、一段右に回すと運転になり、さらに回すとセルモーターが回りエンジンが始動します。気温が低い時、エンジンが冷えている場合は。チョークノブを手前に引き始動して下さい。なお、スロットルレバーは少し下げてください。



### 注意

- 4) エンジンが始動したら、キーより手を放しますとキーは自動的に運転に戻ります。  
注) スタータスイッチは30秒以上連続して操作しないで下さい。バッテリーの消耗が大きいのと同時にセルモーターが焼損する恐れがあります。  
注) 1回で始動しない場合は、10秒程度間をおいてから同じ操作を行ってください。
- 5) エンジンが始動したら、スロットルレバーを操作し、所定の回転数にあわせてください。
- 6) エンジンを停止する際は必ず規定アイドル回転にスロットルを戻してから、スタータスイッチを停止位置に戻してください。

## 《切 断》



警告

使用ブレードは必ず、切断直径に合ったものをご使用下さい。

湿式円形切断カッター「円太郎」は本体で何種類かの直径の切断が可能です。

切断径によって、センターアームの変更を行わなければなりません。【切断径の変更の項参照】

異なったセッティングで切断をしますと機械の損傷やブレードの破損を起こす原因となりますので、必ず切断径にあわせてご使用下さい。

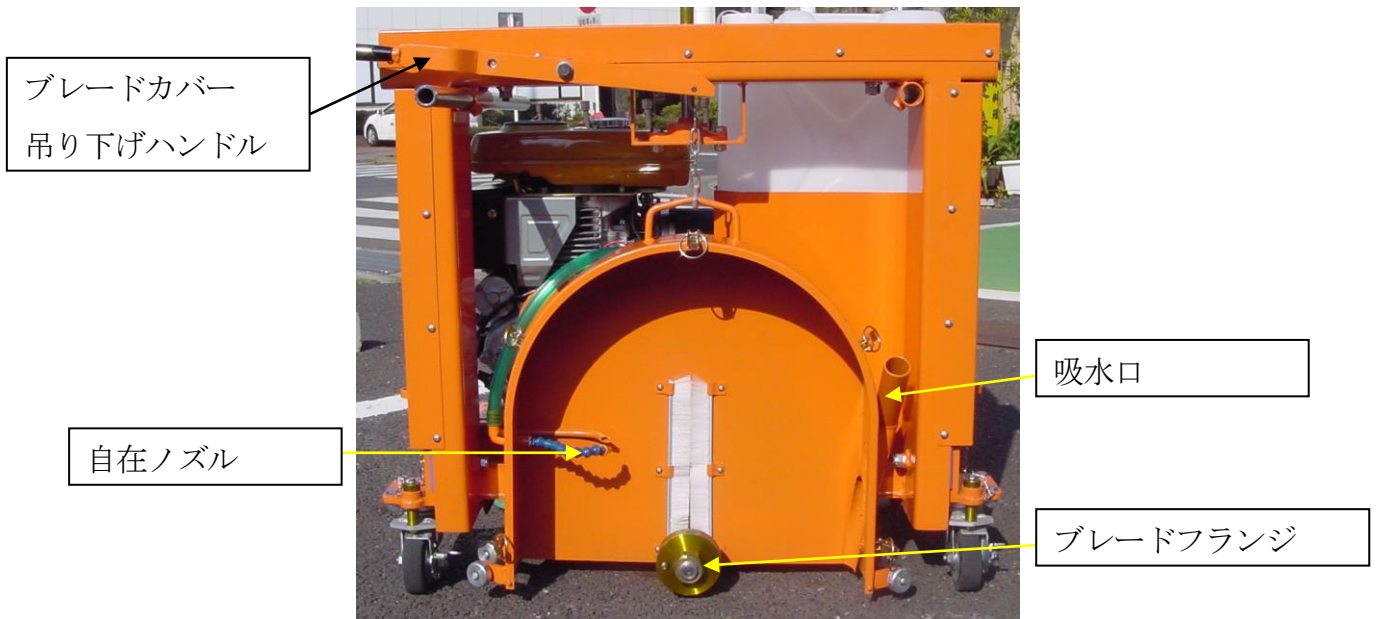
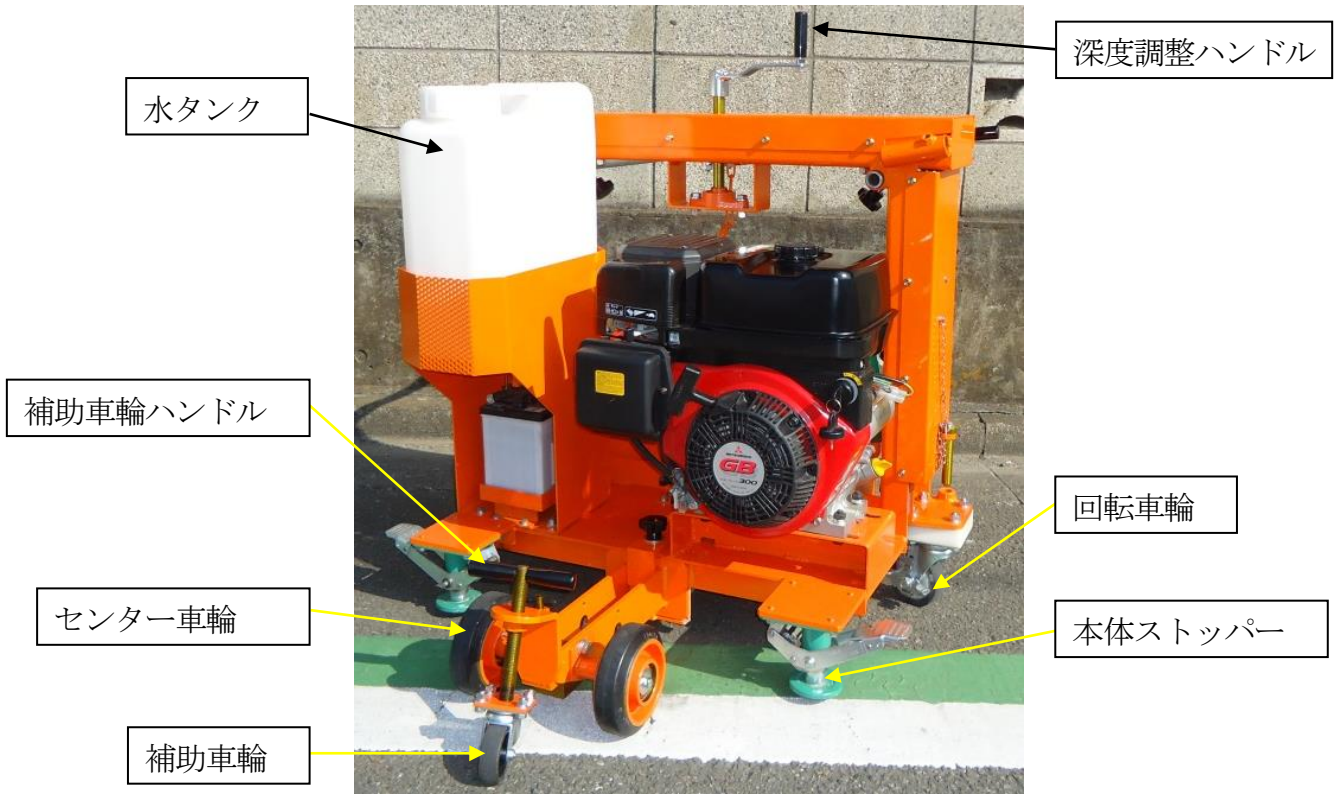
- 1) エンジンを必ず停止し、深度調整ハンドルによりブレード軸を上へ上げ、切断径に合ったダイヤモンドブレードを軸にしっかりと固定して下さい。締め付けは付属のスパナを使い、ハンマーなどでたたきながらしっかりと取り付けてください。なお、本機は通常のコンクリートカッターとは違いアップercットですので、ダイヤモンドブレードの取付方向には注意して下さい。ネジは右ネジです。



警告

- 2) 作業時には、必ずブレードカバーを取付、ブレードがもし破損しても周囲に危険が及ばないようにして下さい。また、ヘルメット、防塵メガネ、防塵マスク、安全靴を利用して下さい。
  - 3) 切断径の中心にセンター中心円板をコンクリート釘などでしっかりと路面に固定して下さい。
  - 4) センターアームの補助車輪のハンドルを回し、センター車輪を浮かせ本体とセンター中心円板を位置決めした後、ハンドルを戻し専用ボルトで固定、本体が滑らかに回転するか確認して下さい。
  - 5) エンジンを《運転》の項にしたがって始動し、所定の回転数にして下さい。
  - 6) 水タンクのコックを開け、ブレードに散水して下さい。その際ブレード外側ノズルは自在ですのでブレードに充分水がかかるようにして下さい。
  - 7) ブレードカバー吊り下げレバーを外し深度調整ハンドルをゆっくり回し、切断を始め、所定の深さまで切り込んでください。  
その後ゆっくり本体を押しながら切断して下さい。
- \* 泥水を吸引する場合はブレードカバー吸水口に別置バキューム装置をセットして下さい。  
吸水口口径は 38φ です。

《主な部品名称》





## 【切断径の変更】

湿式「円太郎」は出荷時には、1050～1280φ切断用にセットされています。

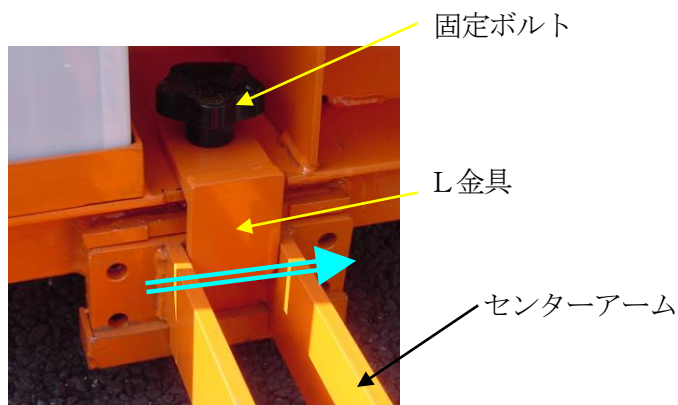
以下の手順によりご希望の切断径に設定してご使用下さい。なお、セッティングと使用径が異なりますと、機械の故障、ブレードの損傷の原因となりますのでご注意下さい。

手順 1 ダイヤモンドブレードは取り外し、深度調整ハンドルを回してエンジンベースと路面がほぼ水平になるようにして下さい。

手順 2 本体ストッパーで本体を上を上げ、固定し中心車輪をフリーにして下さい。

手順 3 センターアームの固定ボルトを緩め、L金具を外しアームを右にスライドさせるとアームは取り外せます。希望のものと交換し、しっかりと固定してください。

アーム種類	後輪取付け位置
900φ用	○P. 固定穴
1050～1280φ用	標準. 長穴の奥側が 1050φ用 手前が 1280φ用車輪取付け位置
1500～1800φ用	○P. 長穴の奥側が 1500φ用 手前が 1800φ用車輪取付け位置



株式会社ノリタケマシンテクノ

本社 〒202-0014

東京都西東京市富士町2丁目13番17号

TEL0424-61-5171(大代表) FAX0424-61-6310

東京支店 福岡支店 大阪支店 名古屋営業所  
長野営業所 仙台営業所 広島営業所 札幌営業所  
新潟営業所 新座工場